

## TEシリーズ 取付マニュアル

本機ユニット名  
MB-BTEシリーズ（以降本製品と記述）の取り付けには、車両設営の取り外しや加工が必要になります。  
本取付マニュアルに記された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

## ⚠危険

選定が記載されている車両以外には取付けできません。  
適合車両は、店頭の車種別ハーネス適合表でご確認ください。

マニュアル車へ取り付けることは、絶対にしないでください。  
マニュアル車は、多数のパーキングブレーキの連結を  
防ぐため、パーキングブレーキをかける際にギアを「1」に  
し、ブレーキペダルを踏んで、ブレーキランプが点灯するまで、  
必ずギアを「1」に入れて、ブレーキをかける必要があります。  
また、保  
持などに使用する際にもギアを「1」に入れておく必要があり  
ます。  
その状態でエンジンスタートを使用すると、侵入走行の  
原因となり、思わぬ事故につながる可能性があります。

●マニュアル車には、  
取付けできません。



●両前灯がハイビーム状態には、取り付けできません。  
取り付けすると車両故障の原因となります。

●外車、軽自動車、自動車には、  
取付けできません。



●エンジン始動時に下記のような場合には、  
取り付けできません。



アクセル操作が  
必要な車



年寄りを運転して、キーを握って2秒  
程度でエンジンのかかるような車

- △注意 本製品およびオプション アダプター取り付け時には、車両設営に際する専門知識が必要です。  
車両への取り付けは、お買い上げの店先またはカーディーラーにご依頼ください。
- △注意 取付作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。  
バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる車やコードの接続部に工具が接触し全  
員に危険を及ぼす可能性があります。
- △注意 本製品をしまひ込む際は、次の点に必ず注意してください。  
ホルムステアリングやコラムシートを調整した状態で、ハーネスの巻き込みが確認できないこと。  
ブレーキペダルやアクセルペダルの操作に本製品が干渉しないこと。
- △注意 おまかせコード類はシールドを断つため、必ず絶縁処理してください。  
また、ワンタッチコネクタやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。
- △注意 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本機に付属されているP/N検出アークを測る  
必要があります。その場合は規定スイッチを各「アクトブレーキ検出」もしくはP/N検出  
アークを測定してください。
- △注意 GPRコネクタから車両と接続する機器とは使用しないでください。誤作動の原因となります。

## 付属品一覧

- ・リモコン 1個
- ・本機（メインユニット）1個
- ・ワンタッチコネクタ 1個
- ・危険スコープ 1枚
- ・結束バンド（大） 1本
- ・結束バンド（小） 2本

## 配線のしかた（ドアロック配線の方法は別表をご覧ください）

- 1 車両が次の状態になっていることを  
確認します。



- 2 アンダーダッシュを外して、本体の取り  
付け位置を仮決めします。  
本体はアンダーダッシュ内に取付けます。  
運転を妨げないよう注意し、おおよその取り  
付け位置を決めます。

△注意 固定位置を仮決めしないでください。

## △注意 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか？
- ・車種別専用ハーネスの長さ足りるかどうか？  
（ハーネスが本体に届かないときは、別売の  
TE201「延長ハーネス50」を使用してください。）
- ・本体の固定スイッチは切り替えやすいですか？
- ・本体のアンテナ 周辺が車両の各電線部分  
（ボディヤコード類など）から5cm以上、離れて  
いますか？

- 3 車両のキーシリンダーのコネクタを抜き、車種別専用  
ハーネス（別売）をしっかりと接続します。



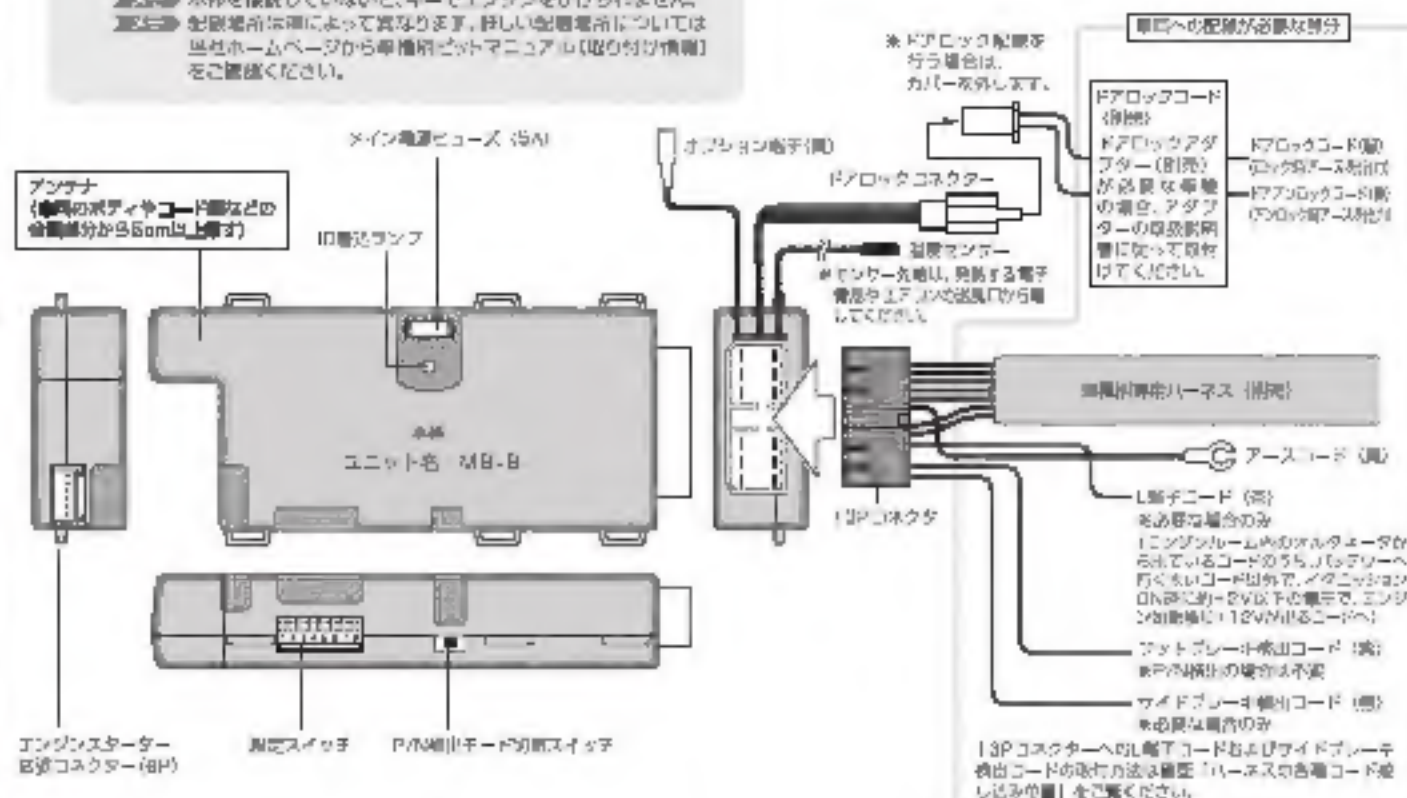
△注意 必ず正しいキーコネクタに接続してください。誤った場所  
に取付けると、車両故障の原因となります。

- △メモ キーコネクタとは、「キーシリンダー」裏から出ているコネ  
クターまたは「キーシリンダー」裏から出ているコードにつ  
ながっているコネクタです。
- △メモ 本体を保護していないと、キーでエンジンをかけられません。
- △メモ 配線場所は車によって異なります。正しい配線場所については  
当ホームページから車種別ドットマニュアル（取り付け情報）  
をご覧ください。

- 4 アースコード（黒）を、車両の金属部分を固  
定している無塗装のボルトに共通めします。

△注意 アースが不完全なときは動作不良の恐れがあります。  
アースは正しく取り付けてください。

△注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電線と隣り  
ボルトにアースを取り付けしないでください。  
異音が発生したり、オーディオのメモリーが消失する  
恐れがあります。



- 5 純正イモビライザー装着車の場合は、イモビ付車対応  
アダプター（別売）を取り付けます。

- △メモ 純正セキュリティ系アダプターや、キー検出系アダプ  
ターが必要な車種の場合、それぞれアダプターを取り付  
けてください。
- △メモ イモビ付車対応アダプターの取り付けや設定の詳細は  
イモビ付車対応アダプターの取扱説明書をご覧ください。
- △メモ 本アダプターを接続する場合は、下記のように本体の設定  
スイッチを切り替えてください。  
本体設定スイッチ（P/N検出出力）の設定対象アダプター  
（2014年9月現在）  
・TE413 ・TE417 ・TE420 ・TE422

対応車種のアダプター	スイッチ（P/N検出力）
TE413/417（※）/420/422	OFF（A）
※TE417をイモビ付車対応アダプターとする場合は、ON（B）に設定してください。	ON（B）

- 6 13Pコネクタを本体にしっかりと差し込みます。

- △メモ ハーネスが本体に届かないときは、別売の TE201  
「延長ハーネス50」を使用してください。

△注意 配線には付属のワンタッチコネクタをご使用ください。付属のワンタッチコネ  
クターは規格が厳い車種にも対応しています。他のワンタッチコネクタを使用  
した場合、異音や故障の原因となります。

ハーネスの取り付けが完了したら、別表を参照して動作確認と本体  
の設定を行ってください。（ドアロック配線を行う場合も同様参照）



**1** P/N検出が可能が確認します。

**※重要** 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2を一旦上側(「フットブレーキ検出」)にしてP/N検出データを消去した後、再び下側(「P/N検出」)へ戻し、設定し直してください。

- 1) 車に乗ります。
- 2) セレクトレバーを「P」にしてキーを抜きます。
- 3) 本製品のリモコンでエンジンをかけます。

**エンジンがかかる場合**

P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

**本体から音が出る場合**

「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったときは、手順4)に進んでください。  
他の音が鳴ったときは、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

- 4) 20秒以内にイグニッションを「ON」(メーターパネルが点灯する位置)にします。  
20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったとき  
車種別専用ハーネスの品番および、車種別専用ハーネス取り付け状態を確認してください。

動作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき  
手順5)へ進んでください。

- 5) 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「D」または「R」にします。  
20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

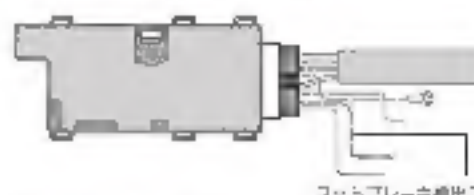
本体が「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったとき  
取扱説明書の「P/N検出時のST1/ST2切り替え」を参照して、ST1とST2を切り替えてください。その後、もう一度手順2)からやり直してください。  
ST1とST2のどちらでも設定できない場合は、車両がP/N検出に対応していません。手順4)~5)を参照し、フットブレーキ検出と設定を行ってください。

本体が「ピー」と鳴ったとき  
手順6)へ進んでください。

- 6) セレクトレバーを「P」に戻してキーを抜きます。  
これでP/N検出データの設定は完了です。

**2** 車両がP/N検出に対応していない場合は、付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキ検出コード(紫)を車両の次のコードに取り付けます。

**※重要** 配線場所はビッドマニュアル参照



フットブレーキ検出コード(紫)

**※注意** ①でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

車両同正装備のストップランプが白熱灯の車の場合、LEDストップランプへ変更すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

**3** フットブレーキ検出コード(紫)を取り付けた場合は、設定スイッチ2「フット/PN切替」を「フット(上側)」にします。

**※注意** ①でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

**4** 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。

設定スイッチ

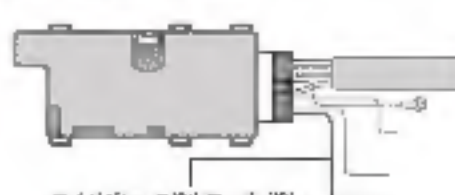
スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しません
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	LED制御	通常	特殊
4	LED子配線	なし	あり
5	(使用しません)	-	-
6	クロータイム	通常	5秒
7	DP解除出力	A	B
8	記憶記憶	通常	記憶

①は工場出荷時設定です。

**※注意** 新しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

**5** 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。

**※重要** 配線場所はビッドマニュアル参照



サイドブレーキ検出コード(橙)

**※注意** 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

**6** サイドブレーキ検出コード(橙)を取り付けた場合は、設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

**※注意** 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

**7** 動作を確認します。

- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) イグニッションをOFFにし、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。  
スマートキー装車車は、純正スマートキーを車から離れた場所に移動させます。
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。  
エンジンがかからないときは、取扱説明書の「スターターでエンジンがかからないとき」を参照して対処してください。

**8** ドアロック機能を使用するときは、車両のドアロックの解錠方式に応じて配線します。

**※注意** 車種によってはドアロック機能が使用できない場合があります。当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表で確認してください。適合しない車両に配線すると、車両故障や不具合の原因になります。

**マイナス制御の車(TE202高音車種)の場合**

- 1) 9席のドアロックコード(TE202)の線コードと青コードを車両に取り付けます。

**※重要** 配線場所はビッドマニュアル参照

- 2) 本製品のドアロックコネクタのカバーを外し、ドアロックコードのコネクタをしっかりと差し込みます。

**マイナス制御以外の車の場合**

当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表を参照して、指定されたドアロックアダプターを使用してください。

**※注意** マイナス制御以外のアダプターを取り付ける場合は、取り付け方法が異なります。必ずアダプター付属の取組説明書とビッドマニュアルを参照し、記載されている方法で配線してください。

**9** ドアロック配線を行った場合は車両のドアをすべて閉めて、ドアロック機能の動作を確認します。**10** 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコードを付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。**11** 付属の巻換シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。

これで本体の取り付けと設定は完了です。

**参考**

車種別ビッドマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。  
ビッドマニュアルの参照方法は、当社ホームページや店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。  
ただし、ビッドマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビッドマニュアルはオプションなどすべての配線を適用するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

**ワンタッチコネクタの使い方**

- 1) 本製品のコードを差し込む
- 2) 車体側のコードを通す
- 3) フライヤーなどで金属部分を溶かす
- 4) カバーをして配線アートを整える

**マイナス制御の車に差し込む方法**

サイドブレーキ検出コード(橙)はここに



コードの差し込みがたは次のとおりです。

- 1) 千枚通しなどで先のとがったものを使ってロックピンを外します。
- 2) カシメ線を下にして規定の位置にコードを差し込みます。
- 3) ロックピンを元に戻します。

取り付けに関するお問い合わせ先  
カーメイトサービスセンター  
Tel:(03)5928-1218(代機)  
Fax:(03)5928-1218